



例会報告

第 2 6 3 0 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1 9 6 6 年 1 月 1 5 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
- 大垣共立銀行 高山支店 4 F
- 会長 門前 庄次郎
- 幹事 田中 正躬
- 会報委員長 黒木 正人



「おなじ星を見ていた・ギアリンクスの架ける虹」より
里の春 内田 新哉

<会長の時間>

本日は2回目のクラブ奉仕委員会担当の「CLPについて考える」例会でございます。何かを決定すると言う処ではありませんが、当クラブについていろんな意見を頂ければと思っていますので、宜しくお願いします。

今年度はCLPについて考えて行きたいと言う事で、検討委員会を何回か開かせて頂きました。またロータリー情報委員会の担当例会で、中央クラブの清水幸平様に来て頂いて、お話もお伺い致しました。そして今日は2回目の全員での意見交換の場でございます。

私は今まで皆さんのいろんな意見を聞かせて頂いた中で、3つの事が大切に感じています。それは現在の当クラブの現状、短所・長所を振り返る中で、一つは「クラブビジョン」を作る事。これは当クラブの活動の柱となる大きな想い・スローガンの様な物だと思います。もう一つはクラブが目指すべき「3~5年後の未来像」です。この二つを会員全員が共有する事が大切で、そしてそれを実行するためのクラブ内の委員会の有り方など仕組みを考える事だと思います。

クラブビジョン・3~5年後の未来像については、遠藤会長エレクトから今まで話し合った内容を考慮に入れて頂き来年度の活動の思いをお話頂きますので、それを聞いて頂いて意見交換して頂ければと思います。また資料として前回の話し合いの内容をまとめたものと、前回と少し変わっていますが組織のイメージ図を出ささせて頂きましたので、話し合いの中に取り入れて頂ければと思います。

CLPを導入するには組織の在り方も関係し規約改正と言う問題も出てきますので、今年度は具体的な形を取る事が出来ませんでした。本日を含め今まで話し合ったことを生かしながら、来年度規約改正などを行い新しい形を作り、次々年度から取り入れて行く。そんな方向で行ければと思っています。

そう言った意味でも本日の話し合いは短い時間ではありますが大切だと思いますので、色々意見を出して頂きます事をお願い申し上げます。

<幹事報告>

◎ガバナー、地区会員増強部門委員長より

- ・次期会員増強セミナー開催のお知らせ
- 日 時 5月25日(土) 点鐘 11:00 終了 15:30
- 場 所 岐阜グランドホテル 岐阜市長良 648
- 出席義務者 次期会長・幹事・会員増強委員長

◎下呂ロータリークラブ より

- ・例会開催曜日変更のお知らせ
- 変更前 火 ⇒ 変更後 月 2019年7月より変更
- ※例会場および開催時間は変更なし

<出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	休会	のため	補正	ありま	せん
本日	36名	—	36名	40名	90.00%

<本日のプログラム> お祝い

◎会員誕生日



下屋 勝比古 齋藤 章 内田 幸洋
4. 13 4. 30 4. 17

◎夫人誕生日

- 齋藤 章 厚子 さん 4. 5
- 向井 公規 祐子 さん 4. 22
- 東 庄豪 ひろみ さん 4. 26
- 榎坂 純一 真弓 さん 4. 20

◎結婚記念日

- 挾土 貞吉 4. 7
- 田中 晶洋 4. 16
- 井上 正 4. 21
- 大前 克秀 4. 27

◎出席表彰



挾土 貞吉 34年



大村 貴之 7年(3月分)

◎3ヶ月表彰

- ・内田 幸洋 ・齋藤 章 ・阪下 六代 ・長瀬 達三
- ・挾土 貞吉 ・平 義孝 ・門前庄次郎

インスピレーションになろう

例会報告

クラブ奉仕委員会

委員長 鴻野 幸泰

本年度のクラブ奉仕委員会担当例会はCLPの検討に充てており、本日はその2回目です。

会長の時間にもありました通り、まずは会長エレクト遠藤さんから次年度の活動についてお話しいただき、それを踏まえつつ事前に振り分けさせていただきました席割にて、グループ毎にクラブの未来像等話し合いをお願いします。



CLPに関して 会長エレクト

遠藤 隆浩

いかなる組織も、時間の経過と共に、硬直化します。社会・経済構造の変化、人口の減少、地域社会・経済の衰退はロータリークラブの現状にも大きく影響しているようです。高山市を拠点とする我が高山西



ロータリークラブも地域の特殊性を加味しながら例外ではありません。会員数の減少、定着率の問題、そして出席率の低下がそれを現わしています。

先だって実施されたクラブ活力テストの結果はランクCでした。現状は「あなたのクラブはロータリーの理念に沿った活動を実施しており、一定の成果も挙げています。一部の領域で硬直化が進みメンバーの意識にもばらつきがみられます。」であり、対策として「クラブの強みと弱みをメンバー全員で再確認し、体質改善と組織強化の中長期計画を策定し、それに基づいて具体的プログラムを実施しましょう。メンバーのロータリアンとしての研鑽・学習にも力を入れてください。」というものでした。

今、高山西ロータリークラブが分岐点にたっているとするならば国際ロータリーが推奨するクラブ・リーダーシップ・プランを採用するのが有効な手段だと思います。現在、何回かCLPの会合が開かれています。

それを踏まえてわたしの見解を述べさせていただきます。

一. クラブの長所

- ① 大人として節度あるつきあいができている。
- ② 9ヵ年表彰・出前講座・ソフトミニバレー大会への協賛等毎年継続して行うイベントがある。
- ③ インターアクトを中心にして交換留学生等国際的な青少年活動を行っている。
- ④ 構成会員の年齢が幅広い。

二. クラブの短所

- ① 新入会員の入会がなかなか進まない。
- ② 出席率の低下。
- ③ イベント参加率の低さ。

三. 地域的な問題

- ① 人口減少。
- ② インバウンド効果により外国人観光客が増加しているが、それ目当てに外部資本の流入。
- ③ 比較的、中小業者の多い町だが今後廃業が増えると考えられる。

四. 3～5年後の未来像

- ① 3年以内に会員を50名以上に作る（女性会員を含む）
- ② 9ヵ年表彰、出前講座、ソフトミニバレー協賛といった毎年おこなっているイベントを更に充実させる。
- ③ インターアクト活動を中心にして交換留学生制度を活発におこなう。
- ④ 夜例会や飲酒例会等例会の在り方と回数を考える。

五. クラブのビジョン

地域社会に根ざし、また認知され、活動を通じて会員相互の友愛を築く

第1グループ : 遠藤エレクト、伊藤さん、内田さん、新井さん、書記 大村さん 田邊さん、高桑さん、榎坂さん

組織図(案)の意見として、現在の会員数に対して15の委員会は多すぎるのではないかと、委員会を合併しスリム化した方がいい。5大奉仕委員会は無くせないが、当クラブで積極的に取り組んでいく活動(委員会)・力を入れていきたい活動(委員会)を検討し、減らす活動(委員会)があってもいい、クラブや活動の特色を持たせた組織図にすることが望ましい。会員の負担を減らすことも大切なことである。

委員会がグループされることで、委員会同士の協力が得やすくなればいい、委員会ごとの人員の流動性を持たせる組織ができるといい。経験の少ない委員長も大委員長やグループ内で相談できる環境になればいい。

例会の出席率低下も問題であり、例会を欠席しメイクアップもしていない。指導が足りないのか、本人の努力が足りないのか、例会出席義務を守っていかなければならない。

目指すクラブの在り方を組織に反映し、組織のスリム化 活動のスリム化を具体的に進めていく必要がある。

第2グループ : 垣内副幹事、小森さん、阪下さん、斎藤さん、書記 塚本さん 井辺さん、井上さん、住田さん、蒲さん

- ① 組織図(案)をみると5つの大委員会に分かれているので、それぞれから理事を出すというのではないかと。(大委員長が理事を務める)
- ② SAAはクラブ運営の要なのでニコニコ委員会や出席プログラム委員会と一緒にグループとする考え方もあるかもしれない。
- ③ ロータリー財団や米山奨学委員会はあまり活発な活動をする委員会ではないので、他の委員会も含めてまとめ方を考えてみる必要があるとも思う。
- ④ 戦略検討会議の位置づけについても重要なので、3か年の活動方針を継続して議論できるようにつくりにしたほうが良い。例えば3代の会長で構成する等。

*アクティブに活動するためにも小委員会から再編する必要があり、横断的に委員会を再編した後に、大グループ分けをしたほうが効果的だと考える。

インスピレーションになろう

例会報告

第3グループ：門前会長、狹土さん、田中武さん、鴻野さん
書記 萱垣さん 中林さん

狹：遠藤エレクトの指針をいかにして具体化していくのか、いかに掘り下げて行くのが大事。戦略検討会議のメンバーに会長経験者でベテランの（小森さんや伊藤さん）メンバーに入ってもらってはどうか？現在委員会は委員長がほぼ一人でやっていることが問題だと思う。

門：戦略検討会議のメンバーに会長経験者が入ってもらうのもとても良い案だが、ベテラン会員には大委員会のグループ長になってもらい、それぞれの委員会のアドバイザー役になってもらっても良いのではないかな。そうすることでそれぞれの委員長の横のつながりができて孤独感を感じる事が少なくなると思う。

中：委員会のメンバーが単年度で変わるのではなく、少なくとも2年やることでその委員会の事業に継続性が出てくると思う。

田：私は、自分が入会を勧めた会員（大前さん）は入会以来ずっとサポートをしてきている。新入会員をサポートしていく人をしっかりと作っていく必要があると思う。

鴻：その通りだと思う。今後女性会員が入会してもそのサポート体制がしっかりしていないと駄目だと思う。

第4グループ：田中幹事、平さん、田近さん、米澤さん、
書記 黒木さん 下屋さん、長瀬さん、大前さん

- ・クラブの継続したイベントは重要であるが、全部を継続するのではなく選択してやるべきではないか。例えば9カ年表彰、ミニバレーの見直し。
- ・新たな会員を入れるために、友人・知人を連れて来られる夜の例会があるといい（ハードルを低く）。
- ・組織の変革を考えるいい機会であり、実行すべき。
- ・若い人だけでなく、年輩の人の入会も考えるべきだ。
- ・組織の抜本的改革が必要であり、組織図案を元に進めるべき。
- ・クラブのビジョンなど社会的認知の方法を考えたらどうか。
- ・女性会員は今の時代はやわらかく受入れるべき。複数人を入れた方がいい。
- ・委員長の選定は早い時期がいい。
- ・「何のためにロータリークラブに入るのですか」を皆が言えなければならない。

<ニコニコボックス>

●門前 庄次郎さん、田中 正躬さん

いよいよ新元号が「令和」と発表されました。初めて日本の古典から採用されたとの事です。「平成」は日本にとっては戦争のない平和な時代となりました。新しく来る時代も、日本のみならず全世界が平和な時代となる事を願っています。さて本日は2回目のクラブ奉仕委員会の『CLP例会』です。それぞれのご意見を多く頂きます様宜しくお願いします。

●鴻野 幸泰さん

本日100万\$弁当について、鴻野旅館の弁当をご利用いただきありがとうございます。

●小森 丈一さん

久々に俳壇に掲載されましたので。

●内田 幸洋さん

今月73歳になる予定です。お祝いをいただける様でありがとうございます。

●折茂 謙一さん

孫が医学部卒業し国試に合格。次の孫が医学部合格、もう一人の孫が高校合格しました。

●伊藤 松寿さん

過日、大垣共立の高桑さんと楽しい一夜を過ごしました。本当にありがとうございました。

●新井 典仁さん

私が小学生の頃、池に溺れている2歳に満たない男の子を助けた事がありました。その男の子は成長し大人になり、お医者さんになりました。外科医として名古屋で働いていましたが、この度久美愛病院に勤務することになったと私の所にあいさつに来てくれました。私が言うのもなんですが「立派になったな」と感慨深いものがありました。頑張ってください。

●中林 康弘さん

今年4月で高山西RCに入会させていただき丁度1年になりました。何かと欠席もありますが、今後共指導願ひ致します。

●伊藤 松寿さん、平 義孝さん、米澤 久二さん、田中 武さん、
遠藤 隆浩さん、垣内 秀文さん、下屋 勝比古さん、大村 貴之さん、
新井 典仁さん、田中 晶洋さん、黒木 正人さん、杉山 和宏さん、
萱垣 敬慈さん、

新元号「令和」人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ。梅の花のように日本人が明日への希望を咲かせる国でありますように。



インスピレーションになろう